

## 国鉄改革を踏み躪る階級的労働運動へ回帰

皆さんは、JR東日本がこのまま階級的労働運動へ回帰するのを見過ごしますか!?

2月12日(月)産経新聞朝刊1面のトップ記事で、「JR東労組 スト検討、来月中旬か 会社に通告」の見出しで、JR東労組関連の記事が掲載されました。

内容は、2月9日付、JR東労組 東京地本闘争委員会FAXニュースNo. 8に準ずるもので、「第44回JR東労組定期中央委員会(2月9日開催)の決定に基づき、「格差ベア永久的根絶」の実現に向けた「闘争準備指令第1号」が発出された」と、JR東労組のストライキに関連した世論的な内容です。

情報によれば、東労組定期中央委員会で「確立しているストライキ権のもと、ストライキ権の行使の準備に入る」ことを、中央委員の満場一致で確認したと報じている。

FAXニュースNo. 8によると、第4回中央闘争委員会が開催され、戦術行使に向けた準備指令を全地方本部に発出すると掲載されていた。JR東労組の本音と実際の戦術は不透明だが、スト準備指令の内容は以下のとおりである。

1. 「指名ストライキ」の対象者を選出し、体制確立に向けた準備を行うこと。
  2. 本来業務に集中した業務体制を確立するため、本来業務以外をおこなわない全組合員の体制づくりについて準備を行うこと。
  3. 「指名ストライキ」の対象職場の選出は2月28日、対象者の選出は3月5日までに中央闘争委員会へ報告すること。なお、報告方法については別途指示することとする。
- と情報には掲載されていた。

闘争準備指令が出された背景には、JR東労組業務速報No. 57を見ると、中央委員会開催直前の2月6日の労使間交渉で、申13号「格差ベア根絶」交渉が開催され、「労使間の紛争状態は解決せず、かえって溝は深まった」と、労使間の交渉調整が不調に終わるところか、労使間の溝が拡大したことを報告している。

## ～JR労働運動は国鉄への回帰ではなく次の30年へ イノベーション!～

JR東日本は、国鉄改革を経てその財産と国民からの支持、信頼を得てこの30年を築いてきました。JR東労組が言う闘争意義「格差ベア永久的根絶」には、ストライキ闘争の大義と正義はありません。国鉄改革を踏み躪るものであり、国民の皆さんを裏切る行為です。JR東日本で働く社員として、このことを真剣に考えなければなりません。

国鉄の歴史を繰り返す蛮行には、当たり前の労働組合として真っ向反対します。

企業内労働組合と組合民主主義とは何かを振り返り、数だけではなく運動・活動には大義と正義が必要です。JR東日本の次の30年、今この大きな分岐点は、このことを考える良識と勇気ある社員の結集で決まります。ともに考え、変革しましょう!

(イースト号外を再掲)